



島しょ農林水産総合センター大島事業所発行  
〒100-0212 東京都大島町波浮港 18  
Tel 04992(4)0381 Fax 04992(4)0383

平成 19 年 10 月 29 日

ホームページ <http://www.ifarc.metro.tokyo.jp>

## 調査船「みやこ」新たな海域へ！

### 伊豆諸島はキンメダイの宝庫！

伊豆諸島周辺海域は、変化に富んだ海底地形のおかげで、海底近くに生息するキンメダイの国内でも有数の漁場となっています。特に伊豆諸島ではキンメダイは非常に重要な魚であり、持続的に未永く漁獲していくためには、資源管理がとて重要な課題になってきています。しかし、キンメダイが生まれてから漁場にくるまでの過程は謎が多く、数年前までは日本近海でキンメダイの仔稚魚が採集された例はわずかでした。

### 稚魚探し

キンメダイの稚魚探しを 2003 年から開始し、2004 年には八丈島北方の黒瀬で大量採集に成功し、キンメダイの稚魚が水深 50～100m 付近に多く分布していることを明らかにしました。2006 年には伊豆諸島全域での季節的な出現状況を把握できました。

### 稚魚はどこから？

では、これらの稚魚はいったいどこから来るの

でしょうか？出現時期や場所、成長などのデータから、伊豆諸島での産卵が確認されています。一般的に海産魚の多くの種類では稚魚期を海の中で漂って生活しており、海流や潮の流れで移動することが知られています。キンメダイもある程度の大きさになるまでは浮遊生活していることが分っており、当然、海流や潮に流されている可能性があります。

### 「みやこ」黒潮の上流へ！

これまでの調査結果から伊豆諸島周辺海域において再生産が確認されていますが、この海域には日本の南西方向から流れてくる「黒潮」が流れています。このため、キンメダイは南日本海域で生まれ、この流れに乗ってやってくるという説もあります。実際はどうなのでしょう？この謎を明らかにするためには、黒潮の上流域で稚魚の分布調査を行い、伊豆諸島と比較することにより、移動状況を推定することが出来ます。そこで、黒潮の上流にあたる、高知県の土佐湾沖合い海域を中心とした調査を実施しました。(図1)調査は7・8・10月と3回行い、7・8月のサンプルからキンメダイの稚魚が採集されました。(図2)今後、これらの結果をまとめ、伊豆諸島のキンメダイのルーツに迫っていきたいと思います。



調査指導船「みやこ」(136t)

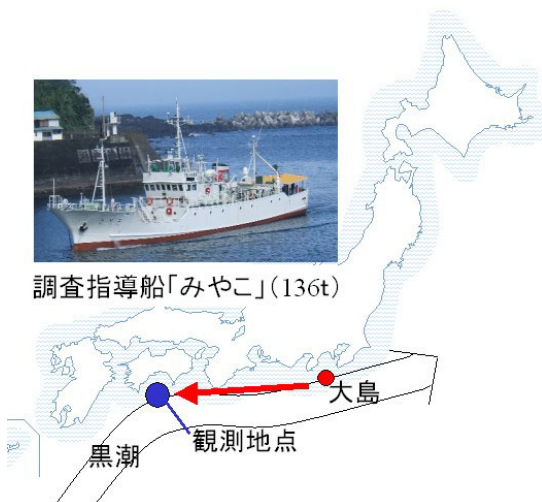


図1 観測地点と使用船舶



図2

8月に高知県の沖合い海域で採集されたキンメダイ(体長5.5mm)